

➤ 栗東市立葉山小学校では、水防災意識社会再構築ビジョンのモデル校として、昨年度より国土交通省と連携し水防災教育の授業づくりに取り組んでいます。昨年度、水防災に関する授業を受けた6年生に対して、水災害を防ぐために国や地方公共団体がどのような取組みを行っているか説明し、小学校区を流れる野洲川が氾濫した時の備えとして行動すべき事について、児童に考えてもらいました。



- 日 時：令和元年7月16日（火）10:45～11:30
- 場 所：栗東市立葉山小学校 6年2組教室
- 参加者：葉山小学校6年2組児童37名・校長・教員、栗東市職員1名
琵琶湖河川事務所職員2名、ケーブルテレビ局(ZTV)

【授業の内容】

- 野洲川の歴史について説明しました。
- 水災害に強い地域を目指して取り組んでいる野洲川の堤防強化のハード対策について説明しました。
- 施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するという意識を持ってもらいました。



過去の水害による被災写真から、児童が『わかったこと』『気づいたこと』『思ったこと』を書いて発表しました。

授業後の生徒の意見

- ・自分たちができることは、すぐに避難することやこまめに情報を確認することだと思った。
- ・最終的に自分を守るのは自分しかないので日ごろから準備を続けていきたい。
- ・自然の災害のことをすぐに伝えてくれる電子機器などを使って、常に気を付けていきたいと思った。
- ・自分でもハザードマップや情報を集めて、即座に避難などできるように努力をしていきたい。

児童はケーブルテレビ局（ZTV）のインタビューに答えました。

